

一般質問(要旨)

●質問者

- 3月7日(木) 坂本 隆司 議員 (いばらき自民党)
- 3月11日(月) 小泉 周司 議員 (いばらき自民党)
- 3月8日(金) 瀬谷 幸伸 議員 (いばらき自民党)
- 3月12日(火) 長田 麻美 議員 (日本維新の会)
- 玉造 順一 議員 (立憲いばらき)
- 中山 一生 議員 (茨城無所属の会)
- 江尻 加那 議員 (日本共産党)
- 星田 弘司 議員 (いばらき自民党)
- 山本 美和 議員 (市民ネットワーク)
- 中村 はやと 議員 (無所属)
- のぶこ 議員 (市民ネットワーク)

こちらから録画映像でご覧になれます。

https://ibaraki-pref.stream.jfit.co.jp/?tpl=gikai_result&gikai_id=167



山本 美和 議員
公明党 市選出

住民参加を踏まえた
流域治水対策

議員 流域治水対策のさらなる推進には、災害を自分事として捉え、マイ・タイムラインの作成などにより備えることと、リスクコミュニケーションのための体制整備が重要だと考えるが、所見は。
 知事 適切なリスク情報の提供のため、市町村でハザードマップの作成が進められている。各家庭でのマイ・タイムライン作成や洪水ハザード内での避難訓練の実施など、住民の主体的な参加を得ながら流域治水に全力で取り組む。

学校管理職の登用

議員 現在の60歳の教員数と比べ、世代ごとの人数が大きく減少する中、より良い学校経営を目指すためには管理職の登用は課題だと感じる。どのように進めていくのか。
 教育長 令和6年度から、新たに2年間の教職員マネジメント研修を行い、将来の管理職を計画的に育成するとともに、教務主任などへ女性教員を積極的に配置することで、力量と自信を備えた人材育成に取り組んでいく。
 (ほかに、道の駅の防災拠点としての強化、不登校支援なども質問)



県によるマイ・タイムライン作成授業の様子



瀬谷 幸伸 議員
いばらき自民党 日上市選出

県北地域への企業誘致に係る
取組

議員 県北地域の雇用促進や活性化につながるよう、地域の特性を踏まえた企業誘致に取り組んでもらいたいと考えるが、所見は。
 立地推進部長 未来産業基盤強化プロジェクトの産業用地開発地区に選定した日立市神田町地区は、造成事業着手までの期間を短縮できるよう県が助言などを行う。また、県北地域企業の高い技術力を評価いただける企業などを対象に誘致活動を展開し、地域の活性化に寄与できるよう取り組んでいく。

河川の防災機能向上対策

議員 水害の発生した河川については、原状回復以上の整備を行うことで、防災機能向上を図ってほしいと考えるが、県の取り組みは。
 土木部長 各河川の特性に応じて、河道掘削など、ハード対策に取り組みつつ、マイ・タイムライン作成支援など、被害軽減に向けたソフト対策も併せて進め、県民の安全・安心の確保に努めていく。
 (ほかに、久慈大橋架け替えの早期着工、日立特別支援学校の教育環境充実に向けた対策なども質問)



小石川の浚渫



坂本 隆司 議員
いばらき自民党 龍ヶ崎・利根町選出

牛久沼の活用に向けた
水際線の整備

議員 周辺6市町と県などで構成する牛久沼活用推進協議会で牛久沼周遊ルートなどの新たな活用策の検討が進められているが、牛久沼水際線地域計画※1にどう取り込み、その実現に取り組むのか。
 土木部長 当該協議会で承認された牛久沼周遊ルート案は、当該計画の趣旨が反映されたものと考えられる。県としては、牛久沼の治水安全度の向上に努めるとともに、活用に向けた周辺市町の取り組みについても、積極的に支援していく。

農地における
ナガエツルノゲイトウ※2対策

議員 繁殖力が極めて強いナガエツルノゲイトウが、農地でまん延すれば深刻な被害が懸念される。侵入防止対策にどう取り組むのか。
 農林水産部長 農業水利施設外来水生植物対策関連事業※3の対象施設のうち8割を超える施設管理者から、侵入防止フェンス設置の意向があることから、設置が着実に進むよう現場と一体となって取り組んでいく。
 (ほかに、薬物乱用防止対策、生徒の熱中症事故防止に向けた大会運営の在り方なども質問)



新利根川に繁茂する
ナガエツルノゲイトウ



大足 光司 議員
国民民主党 高萩市・北茨城市選出

HACCPに沿った
衛生管理の適正な実施の促進

議員 食品衛生に係る指導力などの向上を図り、食品衛生協会などとの連携を強化することが必要であると考えるが、HACCPに沿った衛生管理の適正な実施の促進に今後どのように取り組むのか。
 保健医療部長 食品等事業者の指導に当たる職員の人材育成などを行うとともに、食品衛生協会と講習会などで連携を図りながら、HACCPに沿った衛生管理の適正な実施の促進に努め、食の安全・安心を提供できるよう取り組む。



HACCP方式の流れ

ゾーン30※4及び
ゾーン30プラス※5等の取組

議員 ゾーン30やゾーン30プラスの整備目的などの周知に加え、ハード対策にどのように取り組んでいくのか。
 警察本部長 ゾーン30やゾーン30プラスの整備目的などを警察署協議会などの会合で発信し、周知を図る。また、ゾーン30プラスの整備を推進するほか、道路管理者と連携し、既存のゾーン30のゾーン30プラス化などのハード面での整備にも努めていく。
 (ほかに、医師確保の取組、文化財継承の担い手確保なども質問)

県議会モニターからたくさんのご意見を頂きました

茨城県議会では、県民の皆さまから意見聴取・情報収集などを行い、議会の活動や広報に反映させることを目的に、令和3年11月から「県議会モニター制度」を実施しています。令和5年度は11名の方をモニターとして委嘱し、議会活動と議会広報について意見調査を行いました。
 議会活動では、令和5年第1回定例会の中継や議事録などをご覧いただいた上で、「分割質問の方が分かりやすい」、「本会議と違い、予算特別委員会の中継には答弁者名が表示されていない」などのご意見を頂きました。
 また、議会広報では、県議会だよりについて「文字が多いため、写真などを増やしたほうが良い」、「県の公式LINEに県議会だよりを掲載してほしい」と、「ホームページについて「情報量は十分だが、もっと探しやすい」と、「用語集があると良い」などのご意見を頂きました。
 頂いたご意見を踏まえて、令和6年第1回定例会から予算特別委員会の中継に答弁者名を表示したほか、ホームページの改善などを行いました。
 令和6年度も9名の方をモニターとして委嘱し、ご意見を頂く予定です。
 引き続き、モニターの方のご意見を参考に、改善できるものは改善し、より開かれた県議会を目指してまいります。